

# ベラルーシ公開情報取りまとめ

(12月15日～12月21日)

2018年12月26日  
在ベラルーシ大使館

## 【主な出来事】

- 露紙「コメルサント」、ロシアがベラルーシに税操作に関する最後通告と報道(12/15)
- ルカシェンコ大統領、2019年度予算で厳格な支出抑制を指示(12/17)
- 中央銀行:政策金利は当面10%で据え置き(12/19)

## 内政・外交

(12/17, 大統領公式サイト, ベラパン通信)

### 【ルカシェンコ大統領動向】

#### ●2019年度予算で厳格な支出抑制を指示(12/17)

ルカシェンコ大統領は、2019年度の予算に関し、いかなる無駄も許さず、支出の必要性を厳格に精査するよう指示。不必要な出張は無くすべきであり、外国で開催される国際会議への対応は各国にある大使館に任せるべき旨指摘。大統領はまた、ロシアとの間で税操作(※)に関する問題が政府レベルで解決されていないことにつき、ベラルーシ国民に過度に心配しないよう呼びかけた。

(※税操作:ロシアで現在進められている石油分野での税制改革。2019年から2024年にかけて、石油の輸出関税を廃止する代わりに鉱物資源採掘税を引き上げて相殺する内容。ベラルーシは現在、ユーラシア経済同盟(EAEU)加盟に伴ってロシアから無関税で石油を輸入できているが、税操作に伴ってこの特典が失われるため、ベラルーシ企業に対する補償を求めてロシアと交渉を続けている。)

(12/17, 大統領公式サイト, ベラパン通信)

#### ●貿易高10億ドルを目指すパキスタンとの合意の履行に向けた用意を表明(12/17, ミンスク)

ルカシェンコ大統領は、パキスタン軍のズバイル・マフムード・ハヤト統合参謀本部議長と会談し、両国の潜在力からすれば10億ドルという貿易高は決して大きくない旨指摘した上で、軍事技術協力について、ベラルーシ側は迅速に検討し、決定を下す用意がある旨表明。

#### ●2019年の社会経済発展課題に関する大統領令に署名(12/20, ミンスク)

政府の業務効率性を計る主要指標は以下のとおり。

- ・GDP成長率 - 4%増
- ・財・サービス輸出 - 5.4%増
- ・一人当たり可処分所得 - 3.4%増
- ・インフレ率 - 5%以下

(12/20, 大統領公式サイト, ベラパン通信)

#### ●国内活動家との会合(12/20, ミンスク)

会合で大統領は、ミンスクへの人口・施設一極集中が限界に達しているとして、ミンスク郊外の開発の必要性を指摘。また、雇用創出のため中小企業の数に現在の2倍以上にする必要がある旨指摘。その他、住宅公共サービスや給水のサービス改善を指示。

(12/20, 大統領公式サイト)

#### ●ザシ安全保障評議会国家書記をCSTO事務局長に任命する決定案に署名。(12/21, ミンスク)

(12/21, 国営ベルタ通信)

## 【内政】

#### ●2019年度予算に関する財相発言(12/17)

エルモロヴィチ財務大臣によると、2019年度予算額は2018年度予算より増加しておらず、ロシアによる税操作に伴う補償を見込んでいない。同補償が受けられる場合は、準備基金に組み入れられ、大統

領の決定によって特定の目的に使用される。

(12/17, 国営ベルタ通信)

### ●2019 年度予算は 17 億ルーブルの黒字を想定

議会代表者院(下院)のドブリニナ予算財政常設委員会委員長によると、2019 年度の国家予算は歳入が 237 億ルーブル、歳出が 220 億ルーブルを見込んでおり、17 億ルーブルの黒字を想定。国家予算からの給与支給は増額されて 2019 年末には全国の(官民合わせた)平均給与の 80%にするなど、社会分野の支出は増加する。国内及び対外債務の返済には 57 億ルーブルが充てられる予定。

(12/18, 国営ベルタ通信)

## 【外交】

### ●露紙「コメルサント」、ロシアがベラルーシに税操作に関する最後通告と報道(12/15)

同紙の報道によると、コザク露副首相がリャシェンコ副首相に対して、まずは両国家の統合が先であり、経済援助についてはその後話し合うとの立場を表明。これに先立つ 14 日、シルアノフ露副首相兼財務相は、「石油分野での税操作はロシア国内での変更であり、それに伴ってモスクワからミンスクに補償を支払う約束はしていない」旨表明している。

計画されている税操作により、現在ベラルーシがロシアから炭化水素原料を輸入する際に(関税同盟により)無税となっているロシアからの輸出関税は 2019 年-2024 年にかけて 30%から 0%に下がる見込み。同関税引き下げの代替として、ロシア国内の鉱物資源採掘税が同程度引き上げられ、ベラルーシにとっての資源輸入価格が高騰すると予測されている。

(12/15, ベラパン通信)

### ●ベラルーシはクリミア半島のロシアによる軍事化に関する決議に反対投票(12/17, ニューヨーク)

クリミア半島、国会及びアゾフ海のロシアによる軍事化に関する(非難)決議が採択された。同決議案には 66 か国が賛成し、72 か国が投票を棄権した。ベラルーシ、アルメニア、ウズベキスタンを含む 19 か国

が反対票を投じた。なお、カザフスタンとキルギスは投票を棄権、アゼルバイジャン、タジキスタン、トルクメニスタンは投票を欠席した。

(12/17, 国営ベルタ通信, 12/19, 20, ベラパン通信)

### ●ウクライナ最高会議第一副議長、クリミア半島のロシアによる軍事化に関する決議に対するベラルーシの反対投票を批判。(12/18, キエフ)

ウクライナ最高会議のケラシェンコ第一副議長は、自身のフェイスブックに、ベラルーシは表向き中立を標榜しつつ、実態はモスクワの立場を指示しているとして批判のコメントを掲載。他方で、これまで累次の決議に反対票を投じてきたカザフスタンが今回投票を棄権したことは喜ばしい旨指摘。

(12/18, ベラパン通信)

### ●露検事総長の子息が駐ベラルーシ露大使の経済評議会議長代理に任命(12/19, ミンスク)

チャイカ産業家・起業家国際会議会長がバービチ露大使の下で経済評議会議長代理に任命された。同評議会の任務は、露・ベラルーシ間の貿易経済及び地域間協力の問題について議論・分析し、両国のビジネス・経済の運営の基本方針についての提案を準備すること。産業家・起業家国際会議によると、チャイカ氏は露検事総長の子息で、ベラルーシ内務省から「協力に対する」記念品を受章している。

(12/19, 国営ベルタ通信)

## 【治安・軍事】

### ●2019 年におけるベラルーシ・セルビア二国間軍事協力計画が署名(12/18, ミンスク)

ミンスクでベラルーシ・セルビア両国国防相代表者による作業部会が開催され、成果文書として協力計画が署名された。

(12/18, ベラパン通信)

## 【経済】

## 【国内経済】

### ●税制改革(12/18)

キイコ財務次官は、議会に税法典の改革案を提出。主要な改正点は以下のとおり。

- ・外国の自動車輸送機材に対するベラルーシ公共道路通行料の廃止
  - ・建設途中の不動産に対する2%の税率廃止。
  - ・利用されていない不動産に対する税率を最大10倍まで引き上げる地方議会の権限の廃止。
  - ・利益に対する課税の投資控除を1.5倍に拡大。
  - ・利益に対する課税を、6%を限度として半減させる。
- また、個人に対する配当課税を条件付きで削減。
- ・税金滞納に対する課徴金が未納税額を上回らない規定の導入。
  - ・個人が居住地以外の税当局にも申告可能となる制度の導入。

(12/18, ニュースサイト TUT.BY)

#### ●中央銀行:政策金利は当面10%で据え置き。

中銀の試算によると、2018年のインフレ率は6%以下という目標値の範囲内の5.5%程度となる見込み。

(12/19, ベラパン通信)

#### ●中央銀行:2018年末の金・外貨準備高は約70億ドルとなる見込み。

2018年12月だけで政府・中銀の債務返済のために約10億ドルが支出される見込み。

(12/20, ベラパン通信)

#### ●中央銀行:2019年3月1日から、個人も特段の許可なしで外国銀行に決済口座を開設可能になる。

12月19日付の中央銀行決定。ただし、預金口座については引き続き中銀の許可が必要。中銀は引き続き通貨自由化政策を進める意向。

(12/20, ベラパン通信)

### 【対外経済】

#### ●スズキがベラルーシ市場でのシェア拡大へ

12月14日、自動車メーカー「スズキ(Suzuki Motor)ロシア」の高橋社長は、ベラルーシにおける同社のディーラーである「レッドモーターズ」のフェドレンコ社

長と共同でミンスクで記者会見を開催。スズキはベラルーシ市場において、2017年に127台、2018年に150台をそれぞれ販売しており、2019年は270台を販売予定。

(12/14, ベラパン通信, 12/17 スズキ・ベラルーシ報道発表)

#### ●ベラルーシ企業アムコドル社の組み立て工場が稼働開始(12/18, エジプト, アブ・ザアバル)

アブ・ザアバル市内でフォークリフト等の輸送機材の組み立て工場が稼働開始。同工場では今後、徐々に現地調達比率を向上させる予定。

同組立工場の開設は、本年11月にカイロで開催されたベラルーシ・エジプト貿易委員会で署名された、ベラルーシ国立軍産組織とその傘下企業並びにエジプト農業発展企業との間で相互理解覚書に基づいて行われた。

(12/18, 国営ベルタ通信)

#### ●2018年の対ドイツ貿易高は30億ドルに達する見込み

シェスタコフ外務次官が19日、産業パーク「巨石」で行われたベラルーシ・ドイツ貿易投資作業部会の会合で発表。本年1月-10月の貿易高は前年同期比18%増の27億ドルで、ベラルーシからの輸出は同35.8%増の12億ドル。2017年及び2018年のベラルーシからの対独輸出品は400品目以上。また、本年1月-9月のサービス輸出は20%増加して3億460万ドルとなり、うちコンピューター関連サービスが42.4%増、輸送サービスが14.8%増となっている。

(12/19, 国営ベルタ通信)

(了)